

【教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
健康科学論	NLA11_001	必修	1	1	前期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
粕山 達也 他	D311	kasuyama	授業終了後、または Teams で質問受付		
授業の目的・概要	「心身ともに健やかで活気に満ちた状態」である健康を維持するため、健康を損なって疾病に陥ることなく、健康増進を図ることは、現代を生きる社会人にとって欠かせない生活上のテーマである。本講義では、医療・保健・福祉の専門的な知識の基礎を理解するため、学科の教員がオムニバス形式で開講する。基礎医学における最新の学術的知見や各専門職の現場実践での話題を通じて「生命を深く理解する」学びの素地を身に付けることを目的とする。これらの内容については、同時双方向型授業としてメディア (Microsoft Teams) を利用した意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的に理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業 (双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業 (自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	講座を通して、学科の枠を超えて、本学の各専門分野の全体像をつかんで欲しい。				
教科書	特に指定しない。教員が資料を準備する。				
参考書	特に指定しない。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	健康の概念、医療、福祉、心理について概要を説明できる。		HSU(1)~(3)		
②	人体の構造や機能について概要を理解し、説明できる。		HSU(1)、(2)		
③	健康や看護およびリハビリテーションに関わる専門職について概要を説明できる。		HSU(1)~(3)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	スポーツ関連のリハビリテーションについて学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 粕山	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
2	電子顕微鏡による生物のマイクロ世界の観察について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 志茂	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
3	精神 (こころ) の健康について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 森川	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
4	スポーツの価値について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 升	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
5	幸福から考えるデータリテラシーについて学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 坂本祐	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
6	ストレスのしくみや対処について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 前川	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
7	発達を促す「手を使うこと」について学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 小沢	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
8	ウェルネスの視点から看護することについて学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	[担当] 飯嶋	同時双方向型授業 Teams による配布資料等での復習	4	
試	定期試験は行わない				

【教養科目領域/基盤科目群】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	40	0	0	0	40
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	0	20
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	各回、講義内容の要約をした課題に回答する (各教員 10 点×8 回)。また、8 回のうち 2 回の講義を取り上げて、レポート提出する。評価基準 (ルーブリックにより評価) については開講前に説明する。				レポートの添削・評価
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	坂本 祐太、志茂 聡、小沢 健一、升 佑二郎、前川 真奈美、森川 三郎、飯嶋 玲奈						
教員の実務経験	各教員は基礎医学、理学療法、作業療法、福祉心理、看護の分野の専門家であり、教育、研究および臨床経験が豊富である。						
実践的授業の内容	この授業では、基礎医学をはじめ理学療法、作業療法、福祉心理、看護の専門家が、健康に関わる最新の学術的課題や臨床現場での実践および課題についての話題を提供し、受講者と一緒に健康を科学的に理解する思考を学んでいく。						
そ の 他							